

【電気事情】マラウイ国内の電気総生産量は年間約351mWであり、熊本県天草にある苓北発電所の生産量の約25%程度です。その電気の99%が水力発電で作られている事から降水量に応じて年間の発電状況が大きく変動してしまうのが特徴の一つです。電化率はわずか12%である事から、日本の様に電気に依存した社会とはかけ離れた生活という事がこの数字から見て取れます。※電化率《全世帯のうち、どのくらいの世帯に電気を供給できる設備があるかという数字。ちなみに日本は、ほぼ100%です》その為、ご存知の通り停電という状況はマラウイにおいて日常茶飯事であり、首都中心部にある大型ショッピングエリアですら停電してしまいます。また、電気がもともと備わっていない住民の人達の為に充電ショップの様な店もあり、携帯電話等を有料で充電している人も街中には多くおります。このようにマラウイ国内においての電気事情は極めて深刻であり、マラウイ政府としても新たな発電所の建設など、いくつかの対策が今後展開される予定となっております。同様に、私の任地でもほぼ毎日停電します。いまのところ停電しなかった日は2日間だけしかありません。しかし、そのような状況であっても慣れてくればそこまで不自由と感じる事は無く、電気があったらラッキーと感じる様にもなってきました。日本社会において電気の無い生活など容易には想像できませんが、こんな生活ができるのもマラウイならではの事です。

【ビリヤード】室内で行われるスポーツ競技のひとつビリヤード。マラウイでは大人気であり身近な娯楽となっています。意外にもこのビリヤードの出来る場所がマラウイでは数多く見かけられ、昼夜を問わずマラウイ人の遊び場となっています。ボトルストア（お酒が飲める所）には必ずと言っていいほどこのビリヤード台が備えられています。もちろんお酒を飲む人だけが楽しむ訳ではなく、多くの方が日頃からビリヤードを楽しんでいます。そのビリヤード台の多くは屋根のある屋外（東屋の様な建物）にあり、電気を使わずに楽しめるビリヤードは電気事情の乏しいマラウイにおいて確かに好都合な娯楽だと思います。私も何度か挑戦してみましたが、完敗でした。マラウイ人はみんな上手です。私が下手という事もあります。足元にもおよびませんでした。マラウイではこのビリヤードが娯楽の一つとして定着しているようです。



【パンガナイフ】

いかにもディズニー映画に出てくる盗賊が持っているように危険なナイフですが、マラウイでは日常的に用いられています。薪割り・木の剪定など、日本で言う鉈のような役割を果たす道具でしょうか。しかし、見ての通り刃渡りが長いので日本の法律では所持できないナイフの規格だと思います。道歩く人がこのパンガナイフを携帯していると少し怖い感じもしますが、そんな光景もマラウイの日常です。



【後記】今回で20号目になりました。文字を書くことが苦手で好まぬ私ですが、なんとか繰り返し積み重ねていく内に、今となっては初めていて良かったと感じます。いつも何かを感じた瞬間にメモを取るようにしていますが、取り忘れたら思い出せない事もしばしば。人間の直感とは思ったその瞬間が本当に大事だと常日頃感じます。

れない虫も嫌ですけど、ゴキブリは特に嫌いです。マラウイのゴキブリは若干日本のゴキブリより大きく、色は薄い茶色をしています。ただ幸いにも動きが鈍いので、うっかり逃げられた！って事は今のところありません。自宅では、入念なゴキブリ対策を行っているのですが、外泊の際は毎回心配が尽きません。過去2回寝床を襲われてしまい、大きな奇声を発してしまっただ事もあります。

【ゴキブリ】
あえて写真掲載しませんが、マラウイにも当然います。個人的には相当苦手なのですが、たくさん出てしまします。多くの見慣